

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【公表番号】特表2010-507432(P2010-507432A)

【公表日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2009-533950(P2009-533950)

【国際特許分類】

A 6 1 M 1/36 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 1/36 5 0 0

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 1/16

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

肝疾患を有する個体の治療に用いるための装置であって、

(a) 個体の血液からアルブミンを選択的に取り除くための手段、

(b) 個体の血液からエンドトキシンを選択的に取り除くための手段、および

(c) 個体の血液に、該個体に由来するものではないアルブミンを供給するための手段

、

を含み、前記手段(a)が、100kDaより小さい孔サイズのメンブレンを含むアルブミンの透析手段を含む、上記装置。

【請求項2】

(d) 個体の血液からアルブミンに結合したトキシンを取り除くための手段、

をさらに含む、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

ex vivoで用いるためのものである、請求項1～2のいずれか1項に記載の装置。

【請求項4】

前記手段(a)がアルブミンと選択的に結合することができる固相支持体を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載の装置。

【請求項5】

前記手段(b)がエンドトキシンと選択的に結合することができる固相支持体、または血中エンドトキシンレベルを低下させることのできる薬剤を含む、請求項1～4のいずれか1項に記載の装置。

【請求項6】

(c)のアルブミンが医薬品グレードのアルブミンである、請求項1～5のいずれか1項に記載の装置。

【請求項 7】

個体の血液がex vivoで前記装置を通過する、請求項1～6のいずれか1項に記載の装置。

【請求項 8】

前記アルブミンの透析手段が50kDaより大きい孔サイズのメンブレンを含む、請求項1～7のいずれか1項に記載の装置。

【請求項 9】

肝疾患を有する個体の血液の処理方法であって、

(a) 該血液からアルブミンを取り除くステップ、

(b) 該血液中のエンドトキシンのレベルを低下させるステップ、および

(c) 該血液に、該個体に由来するものではないアルブミンを導入するステップ、
を含み、ステップ(a)を、100kDaより小さい孔サイズのメンブレンを含む手段を用いる透析により実施し、該方法がex vivoで行われる、上記方法。

【請求項 10】

ステップ(a)および(c)を透析により実施する、請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

(i) ステップ(b)が血液からエンドトキシンを取り除くことを含む、または(ii) ステップ(b)が血中エンドトキシンレベルを低下させることのできる薬剤を治療上有効な量で血液に添加することを含む、請求項9または10に記載の方法。

【請求項 12】

ステップ(c)のアルブミンが医薬品グレードのアルブミンである、請求項9～11のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 13】

請求項1～8のいずれか1項に記載の装置を用いて実施する、請求項9～12のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 14】

個体の血液からアルブミンとエンドトキシンが取り除かれるように、個体からの血液を請求項1～8のいずれか1項に記載の装置と接触させるステップを含んでなり、ex vivoで行われる、肝疾患の治療方法。

【請求項 15】

肝疾患を有する個体に由来する血液からアルブミンとエンドトキシンを選択的に取り除くことによって血液を体外的に処理する方法であって、

(a) 血液をアルブミンと選択的に結合する固相支持体と共にインキュベートし、それにより血液からアルブミンを取り除くこと、

(b) 血液をエンドトキシンと選択的に結合する固相支持体と共にインキュベートし、それにより血液からエンドトキシンを取り除くこと、および

(c) 前記血液と同じ個体に由来するものではないアルブミンを前記血液に添加すること、
を含む、上記方法。